

学年だより 完成

豊島区立明豊中学校

第3学年 NO.12

7月10日(金)

夏休みまであと少し

夏休みまで残り一週間となり、各教科からの課題や夏休み中の課題など、各自でやるべきものが増えていく時期を迎えています。夏休みにはさまざまな予定もあると思いますが、時間は誰にでも平等にあるものです。夏休みという時間をどれだけ有意義に効率よく使えるかは、あなた自身の考えと行動次第です。

租税教室

3日(金)には、東京税理士会豊島支部の税理士の方々をお招きし、教室で租税教室を行いました。税の意義・役割、税から考える社会の仕組み、申告納税制度に関してなど身近な消費税も話題として取り入れて、難しくとらえがちな税に関してかみ砕いてわかりやすく教えていただきました。



前号から引き続き、運動会を終えての作文を紹介します。最後は4組です。

運動会

4組

私にとって今年の運動会は、中学校生活最後の運動会だった。三年生になったばかりの頃は、まだまだ先のことだと思っていたが、気がついたら運動会当日を迎えていた。本番は思っていたより過ぎるのが早くあっという間に終わってしまったように感じた。それだけ充実した一日だったのだと思う。

今年特に印象に残ったのは、初めて行われた「お助け綱引き」だ。はじめはどのような競技かよくわからなかったが、実際に参加してみるととても楽しかったことを覚えている。仲間と声を掛け合いながら力いっぱい綱を引き、みんなで協力する楽しさを改めて感じた。

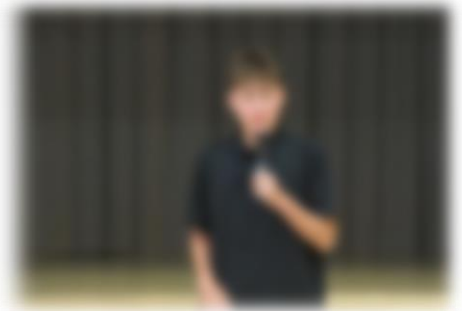
また、競技だけでなく応援や準備に一生懸命取り組んだ。思うようにいかないことも多々あったが、本番に向けてみんなで一つの目標に向かって切磋琢磨できたことは非常に良い思い出だ。当日も緊張したが、一つ一つの競技に全力で取り組むこともできた。結果は優勝に届かず準優勝だった。優勝できなかった悔しさもあったが、最後まで全力を出し切ることができたので達成感もあった。

今回の運動会を通して、仲間と協力することの大切さや最後まであきらめずに努力することの大切さを学んだ。中学校生活最後の運動会は思っていたよりもずっと早く終わってしまったが、たくさんの思い出が詰まった特別な一日になった。

生徒朝礼・学年朝礼にて

6日（月）の生徒朝礼では、運動会のアンケート結果報告に加えて、明豊祭実行委員長からのお話、選挙管理委員会からのお知らせなど、夏休み以降の行事に関して話を聞く機会がありました。中学校生活も後半戦へ向かっています。残された中学校生活の中で学校のために最高学年としてできること、自分のためにできることは何かを考えて確実に前に進んでいきましょう。

また、1組には新しい仲間が増えています。アメリカから訪日している さんが2週間ほど明豊生として過ごします。今年も充実した時間となるといいですね。



意識していますか

生徒朝礼後に 先生からのお話がありましたが、学校生活に直接必要のないものを持ってきてしまったり、日常的に化粧をしたりといった行動について少し考えてみてください。これらの行動は、自分自身のマイナスになる可能性に加え、学年の仲間にも既に迷惑をかけてしまっている、のかもしれない。あなたは自分の行いは自分だけのことだと思っていたとしても、校外の人にとっては誰か一人の一時の姿を見て“明豊中生全体”として捉えられてしまうこともあると意識してください。

これから夏休みが始まり、学校見学などで標準服を身に着けて高校等を訪れる機会も多いと思います。そのときには、たった一人の行動が学年全体や学校としての印象を変えてしまうことがないように、自分がされたくないことはしないという思いやりをもって行動しましょう。受験当日と同じ身だしなみ、言葉遣いを日頃から意識して生活する、それが受験生としての自分を律することにつながります。